

## I. 令和2年度事業報告

令和2年度の当協会事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、観光需要が急激に落ち込んだことから、収益事業の収益が大幅に減少し、当初の事業計画を見直さざるを得ず、一部事業の中止及び縮小に至った。一方で、コロナ禍で困窮する賛助会員や観光事業者を支援するため、賛助会費の全額免除を始めとする支援対応、支援事業を実施した他、外国人市民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供し、相談対応や通訳などの支援を行った。

### [公益目的事業]

#### 1. 観光振興に関する事業

地域活性化及び国際交流の促進を図ることを目的に、国内外からより多くの観光客を誘致する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、国内及び県内観光を主とし、海外に対しては、アフターコロナを見据えたプロモーション及び情報提供を実施した。

##### (1) 海外プロモーション事業

###### ① 誘致事業

台湾やタイ等の都市部において、観光目的地としての仙台の認知度を高めるため、市民向けに仙台の魅力をPRし、また、仙台を訪問先とする旅行商品造成や現地の雑誌等へ仙台の記事掲載を促すため、相手国の旅行エージェントやメディアを対象に誘致PR事業を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大のため、アフターコロナを見据えてのオンライン等でのプロモーション及び情報提供を実施した。

###### i. 旅行博覧会・商談会等への参加支援

対象となる旅行博覧会・商談会等の中止や延期により令和2年度は実施できず。

###### ii. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施【重点】

ア 台湾、タイでの見本市への出展

・台湾：大台南国際旅行博

開催日：令和2年11月20日（金）～23日（祝・月）

（仙台からは渡航できず、現地の旅行エージェントにプロモーションを委託）

・タイ：タイ国際旅行博は新型コロナウイルス感染症拡大により、開催中止

イ 台湾、タイにおける現地誘致営業

・台湾：海外渡航自粛措置等のため令和2年度は実施できず。

・タイ：①仙台・タイ誘客促進サポートデスクと連携したタイ・バンコク旅行エージェントオンラインセールスプロモーションに参加し、タイの旅行エージェント17社22名に向けてプレゼンテーションを実施した。

開催日：令和2年11月25日（水）

②訪日観光情報サイトへの記事掲載及びタイ現地エージェント9社9名に対するオンラインミーティングを実施した。

開催日：令和3年3月24日（水）

### iii. タイインセンティブツアー関係者の招請【重点】

海外渡航自粛措置等により，実施できず。

### iv. 日本国内での商談会の開催

JNTOの主催するタイ・マレーシア市場に向けたオンライン商談会に参加し，現地エージェントに向けて仙台の魅力及びインセンティブツアーのPRを実施した。

・マレーシア：クアラルンプール

開催日：令和3年1月13日（水）

商談件数：9社

・マレーシア：ペナン・ジョホールバル

開催日：令和3年1月19日（火）

商談件数：10社

・タイ：バンコク

開催日：令和3年3月10日（水）

商談件数：3社

### v. 仙台インセンティブツアー情報サイト活用による情報発信

インセンティブ専用ホームページにおいて，支援等の情報発信を行うことにより，アフターコロナを見据えた，仙台へのインセンティブツアーの誘致を図った。また，JNTOバンコク事務所のタイ旅行エージェント向け訪日情報プラットフォームに情報を掲載し，仙台の魅力とインセンティブツアーのPRを実施した。

### vi. インセンティブツアーの支援

海外渡航自粛措置等により，令和2年度は実施できず。

### vii. 台南インアウトバウンド強化事業

大台南国際旅行博に合わせて，仙台に留学経験のある大学生による仙台のPRを実施した。

開催日：令和2年11月20日（金）～23日（祝・月）

## ② 受入整備事業

アフターコロナを見据え，海外からの旅行者が仙台に滞在中，快適に過ごすことができるよう，行政や民間企業等と連携し，環境整備を実施した。

### i. 体験プログラムの創出【重点】

仙台市交流人口ビジネス活性化戦略「日本一の体験プログラム創出プロジェクト」に基づき，観光をはじめ，ビジネス出張，スポーツ観戦，イベント参加など様々な目的で仙台を訪れる来訪者を対象に，ニーズに合わせた多彩な体験プログラムの提供（サイト掲載）を行った。

ア 観光協会やDMOとの連携を図り，既存の体験プログラムの掘起しやブラッシュアップを行った。

・令和2年度 日本語プログラム創出数：529本

・令和2年度 英語プログラム創出数：91本（内，英語専用プログラムは28本）

イ 補助金交付事業を実施し，仙台市の歴史・文化・自然・復興など地域固有の資源を活用した新たな体験プログラムを創出した。

交付事業者数	28事業者
--------	-------

金額	2,302,000円
----	------------

ウ 紙媒体, WEBサイト, SNS など各種媒体を活用したプロモーションやトップページの改修, 多言語化(繁体・簡体・タイ語・ハングル)など, サイトの魅力向上に向けた施策を実施し, 専用WEBサイトの利用促進を図った。

計画に掲げたイベント(仙台青葉祭り・仙台七夕祭りなど)を活用したプロモーションは, コロナ禍でイベント自体が中止となったため, 実施できなかった。一方で, コロナ禍において体験プログラム運営事業者を支援するために, 新しい生活様式に対応したプログラム運営の実践方法や先行事例を紹介するオンラインセミナーの開催や, 専門家監修の感染対策チェックリストを配布する取り組みを行った。

・専用WEBサイトの利用状況

ユーザー数: 147,485 (令和3年3月31日時点)

ページビュー数(開設: 令和元年10月30日)

20,167PV/月平均(令和2年1月30日まで)

48,264PV/月平均(令和2年12月31日～令和3年3月31日まで)

## ii. インバウンドセミナーの開催【重点】

訪日外国人受け入れに積極的な宿泊施設・観光施設の従業員等を対象におもてなしや接客外国語会話等, 訪日外国人の受入に必要な知識や環境整備を目的とした研修会を多文化共生事業と連携しオンラインやYouTubeを活用して開催した。

令和2年度外国人観光客対応力向上セミナー

【第1回】外国人観光客対応力向上セミナー ～インバウンド回復期に向けた対応策～

令和2年11月24日(火) 43名申込

【第2回】外国人観光客対応力向上セミナー ～簡単!伝わる!カタカナ接客外国語研修～

英語編(全3回)・中国語編(全3回)・タイ語編(1回)開催

令和2年12月15日(火)～令和3年3月31日(水)公開 25名申込

【第3回】外国人観光客対応力向上セミナー ～やさしい日本語で外国人観光客をおもてなし～

第1回:やさしい日本語とは 第2回:やさしい日本語の使い方(実践編)

令和3年1月8日(金)～令和3年3月31日(水)公開 35名申込

## (2) 国内プロモーション事業

### ① 観光行事等開催支援事業

地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し, 観光振興の促進を図る予定であったが, 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により, 観光行事の中止・規模縮小等が続いたものの, 主催団体が実施する代替行事及び新型コロナウイルス感染症拡大防止策を支援するため, 主催団体等と協議のうえ, 協賛負担金を拠出し, 開催を支援した。

#### i. 祭り・イベント開催の支援

### ② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台の認知度向上につながる観光関連企画やプロスポーツと連携し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、首都圏や近県で実施予定だった観光関連企画も中止となったため、県内からの誘客促進を主とし、実施した。

#### **i. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画**

新型コロナウイルス感染症の影響により、「仙台七夕まつり」等のお祭り・イベントが中止となり、首都圏や近県へのキャンペーン等は中止となった。

#### **ii. 東北絆まつりへの参画**

新型コロナウイルス感染症の影響により、山形市で開催予定の「東北絆まつり」は中止となった。

#### **iii. 宮城県観光キャンペーン2020への参画**

宮城県観光キャンペーン2020に併せ、みやぎ仙台・松島エリア観光ガイドブックの作成に参画し、モデルコースの作成を行ったほか、仙台での滞在満足度を高めるため、関係機関と連携し、伊達なバス旅コースや宮城県版ガイドブック等の作成に参画した。

#### **iv. 旅行商品の造成支援**

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件に、作成費用の一部を助成した。(年2回)

#### **v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信**

在仙のプロスポーツチーム支援組織「仙台プロスポーツネット」と連携し、プロスポーツを活用した誘致・情報発信を行った。

#### **vi. 観光誘致セールスの実施**

新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏旅行会社等に対する誘致セールスを中止した。

### **③ 教育旅行受入促進事業**

仙台市内の教育旅行に対応できる関連施設(宿泊施設、文化・観光施設、工場等)と連携し、関連情報を把握、整理するとともに、本市の教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、他県の旅行会社や学校に対して、行政や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等により、総合的な誘致活動を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、対象地域を変更するとともに、動画配信サイトやオンライン等を活用した誘致活動を実施した。

#### **i. 修学旅行誘致キャンペーンの実施**

ア 仙台市、宮城県等関係団体と連携して、北海道へのプロモーションをYouTubeを活用して実施し、中学校教育旅行の誘致を図った。

令和2年12月7日(月)～令和3年1月31日(日)公開 102回視聴

イ 東北観光推進機構「教育旅行誘致部会」が実施する事業と連携し情報発信を行った。

##### **【第2回東北教育旅行セミナー(オンラインセミナー)】**

・令和3年1月21日(木)実施

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携し、北関東、信州からの教育旅行の誘致を行った。

##### **【北関東(茨城)旅行代理店訪問】**

・令和2年9月25日(金)実施

##### **【信州(長野・新潟)旅行代理店訪問】**

- ・令和2年10月15日（木）～16日（金）実施  
【北関東（栃木・群馬）旅行代理店訪問】
- ・令和2年11月10日（火）～11日（水）実施

#### ④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すためのパンフレット等の作成及び設置，受入体制の整備等の事業を行う予定であったが，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，一部事業を中止するとともにアフターコロナを見据えた受入体制の整備等を行った。

##### i. クーポン付街歩きMAPの作成

市内中心部の飲食・お土産品販売店舗等の協賛と宿泊施設の協力により，市内の宿泊客を対象にクーポン付街歩きMAPの配布を行った。（5月～3月）

- ・協賛店舗37店舗，配布先宿泊施設62施設

##### ii. 青葉すずのすけを活用した情報発信

新型コロナウイルス感染症の影響により，青葉すずのすけを活用したおもてなしは中止した。

##### iii. 観光ボランティアガイド団体の活動支援【重点】

ア 仙台市内で活動している観光ボランティアガイド団体の事業等に対する助成を行った。

交付団体数	3団体
金額	125,000円

イ 瑞鳳殿，仙台城跡，大崎八幡宮等で活動している，観光ボランティアガイド団体と連携した『観光ガイドと行く!!「伊達な名所」巡り』は新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

##### iv. 街角案内所における情報発信

仙台市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所18施設において，観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行った。（通年）

##### v. 宿泊施設空室情報の提供

JR仙台駅2階の仙台市観光情報センター内に宿泊施設の空室情報を確認できる端末を設置し，当日及び翌日の空室情報を日本語及び英語で提供した。（通年）

##### vi. 他団体との連携による情報発信

「スポーツコミッションせんだい」への参画による観光情報の発信等を行った。

##### vii. 体験プログラムの創出（再掲）

##### viii. 仙台まるごとパス運営協議会等の事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとパス」と「るーぷる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとパス運営協議会」並びに「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を担った。

ア 仙台まるごとパス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・パス販売促進策の推進と広報宣伝の実施

- ・販売実績

期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
枚数	7,588枚（前年度比40.6%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施
- ・利用実績

期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
乗車人員	202,126名（前年度比34.4%）

### （3）仙台西部地区観光振興事業

仙台的観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開する。

#### 【各地区共通】

#### i. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局運営を行った。

【第22回（令和2年度第1回）仙台西部観光振興推進協議会

日時：令和2年6月22日（月）15時30分～17時00分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数；12名（うち事務局6名）

主な会議内容：①令和2年度仙台観光国際協会事業について

②各地区事業の状況について

【第23回（令和2年度第2回）仙台西部観光振興推進協議会

日時：令和2年12月2日（水）15時00分～16時30分

場所：仙台市中小企業活性化センター セミナールーム1B（AER6階）

出席人数；11名（うち事務局3名）

主な会議内容：①秋保・作並定義・泉西部地域活性化事業助成金の要綱・要領改正について

②委員の変更について

#### ii. 地域活性化支援事業の助成【重点】

仙台西部地域で活動する団体が、観光振興の基盤強化や新たな観光資源の創出を目的に実施する事業に対して、経費の一部を助成し地域活動の促進と活性化を支援した。

項目	件数	金額
秋保地区	5件	2,600,000円
作並・定義地区	6件	3,790,000円
泉西部地区	2件	720,000円
合計	13件	7,110,000円

#### iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。  
職員参加状況（開催行事支援及び会議等）

(延べ人数)

時間帯	早朝	時間内	夜間	休日	計
職員数	0	133	13	19	165

#### iv. クーポン付マップのWEB化

仙台西部地区（秋保・作並・定義・泉西部）を網羅したクーポン付マップ等の作成配布をWEB化して経費の節減を行いながら、観光客入込数の増加を図った。

#### ① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的開催した。

##### i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理等を行った。

##### ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

- ・秋保温泉郷内を観光や飲食、ウォーキングやサイクリング等で楽しめる「秋保温泉郷旅あるきMAP」を作成・配布し（6万部）、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。
- ・温泉街での消費拡大を図るため、各旅館からのオリジナル温泉街散策マップ（10館分製作）をまとめ、データ化し、配布した。（配布用印刷は各旅館）
- ・秋保工芸の里や秋保ワイナリー、ガラス工房元、仙台万華鏡美術館等の施設に秋保温泉街の飲食マップ（窓口用）を製作し、配布をした。

##### iii. 祭り・イベント等の開催支援

秋保商和会観光事業、大東岳山開き、まつりだ秋保等への開催支援を行った。

- ・秋保商和会観光事業
  - ①花いっぱい運動
  - ②街路灯七夕飾り付け 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・大東岳山開き：令和2年5月31日（日）神事のみ開催
- ・まつりだ秋保：令和2年10月25日（日） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・アキウルミナ2020（観光庁「誘客多角化等のための滞在コンテンツ造成」実証事業）  
令和2年11月14日（土）～23日（月・祝）  
申請書類の作成補助、広報宣伝協力、来場者案内資料作成等
- ・さかいの産直市 令和2年6月20日（土）～11月1日（日）の毎週土日 合計38回開催  
（※8月15日（土）・16日（日）除く）  
ウェブサイト製作・イベント用チラシ製作（印刷用データ作成）
- ・野尻交流カフェばんどころ 令和2年6月6日（土）～12月13日（日）の毎週土日  
合計57回開催  
ウェブサイト製作・店舗内メニュー表製作等

#### ② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該地域の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・観光看板等）の管理

を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的開催した。

#### **i. 観光施設等の維持管理**

作並温泉の街路灯施設、歓迎こけし塔廻り、案内看板や定義地区の街路灯施設、歓迎塔の維持管理を行うほか、大倉ダム周辺の桜の天狗巣病対策として剪定を実施した。

#### **ii. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等の作成**

作並温泉郷及び定義地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめるマップ等を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

#### **iii. 祭り・イベント等の開催支援**

定義如来夏祭り、ほっこり作並への開催支援を行った。

- ・定義如来夏祭り：令和2年8月1日（土）新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・ほっこり！作並事業：令和3年2月27日（土）
- ・仙山バストロノミー&青空レストランテ 令和2年12月～令和3年1月 広報宣伝協力

### **③ 泉西部地区の観光振興に関する事業**

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該の魅力向上に繋がる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行う会議を定期的開催した。

#### **i. 泉西部旅あるきマップ等の作成**

泉西部地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめるマップ等を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

#### **ii. 祭り・イベント等の開催支援**

泉ヶ岳山開きへの開催支援を行った。

- ・泉ヶ岳山開き：令和2年4月18日（土） 神事のみ開催

### **（４） せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業**

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的に、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許認可の簡便化、市民エキストラの手配等、また支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮のうえ、実施した。

#### **① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業**

##### **i. ロケーション撮影誘致と支援業務**

国内の映像作品を中心に関係各所と連携の上、対応を行った。

- ・NHK地域発ドラマ「ペペロンチーノ」
- ・NHKドラマ「あなたのそばで明日が笑う」
- ・NHK連続テレビ小説「おかえりモネ」

##### **ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開**

年度内に作品2作品が全国公開され、関係各所と連携したプロモーション活動を実施した。

- ・映画「弥生、三月」を活用したプロモーションの実施



- ・映画「L I F E 線状のぼくら」を活用したプロモーションの実施

### iii. 地域啓発事業

- ・地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2020への参画, 等

### iv. 支援実績

- ・映画, TV番組, CM, 書籍等 支援件数132件 (うち撮影実績39件)

### vi. 経済効果

当事業の実施による宮城県全体に対する経済効果は下記のとおり。

- ・令和2年度直接経済効果: 約135,000,000円
- ・産業連関表に基づく二次波及効果: 約223,000,000円

## (5) 仙台・青葉まつり支援事業

大規模な祭りの魅力を活かした観光客拡大を目的に, 仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつりの協賛会事務局に関する業務, 伊達政宗公山鉾の巡行に関わる業務の他, 青葉まつりの開催に合わせ, 伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において, 仙台の名品・工芸品を奉納し, 一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を実施する予定であったが, 第36回仙台・青葉まつりが開催中止となったため, 事業を中止した。

## 2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に, 仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ, 物産品・名産品等の販路拡大のための支援を行う予定であったが, 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により, 他県での物産展の開催・協力, プロモーションについては観光企画等の中止により, 実施できなかった。一方で, 物産関係事業者支援のため, 宮城県補助金を活用して, 物産販売の実施や地元企業を応援する企画を実施した。

### (1) 物産振興に関する事業

#### ① 物産振興に関する事業

##### i. 物産関係団体との連携強化

- ア (公社)宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携
- イ 仙台箆笥協働組合との連携
- ウ 仙台商工会議所との連携
- エ 仙台市産業振興事業団との連携
- オ 仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携  
・情報発信: 14件

##### ii. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示(奉納の会)

第36回仙台・あおば祭りの開催中止にともない, 奉納の会を中止した。

##### iii. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降, 復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し, 賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

ア 東北絆まつり 2020 山形

令和2年5月30日（土）～31日（日）山形市にて開催予定も、新型コロナウイルスの影響により中止となった。

イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応

対応件数 1件（広島市立広島商業高等学校：12月）

#### iv. 仙台銘品ガイドの作成

市内の物産パンフレット（商品名，メーカー，問合せ先等掲載）である仙台銘品ガイドを物産品のPRに活用した。

・物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」の増刷

新型コロナウイルス感染症の影響により増刷を中止した。

#### v. 仙台市工芸展の開催

仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

2021 仙台市工芸展

・開催日：令和3年2月19日（金）～2月28日（日）

・開催場所：エスパル仙台本館

#### vi. 物産品に関するプロモーションの実施

ア 姉妹都市等への物産品PR

プロモーション実施を予定していた白老町の「白老牛肉まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

イ 展示会・物産展等出展

・仙台・宮城“いいもの再発見”フェア

宮城県スタンドアップ支援事業補助金を活用し、観光物産のPR販売イベントを実施した。

開催日：令和2年10月10日（土）～10月11日（日）

開催場所：三井アウトレットパーク仙台港 センタープラザ・イベントステージ

・都の杜・仙台×仙台のいいものフェア

開催日：令和2年12月21日（月）～12月27日（日）

令和3年2月18日（木）～2月24日（水）

開催場所：JR 仙台駅 2F 東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

ウ 販売会

・地元企業応援「仙台・宮城の銘品・銘菓販売企画」

新型コロナウイルスの影響により売上が減少した物産関連企業の支援を目的に販売会を実施した。

#### vii. 物産展等への出展助成

伝統的工芸品組合が実施する工芸品の認知度向上及び販路拡大に向けた取り組みに対して、経費の一部を助成した。

・仙台の伝統的工芸品出展事業等への助成 助成件数：1件 581,000円

### 3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的とし、当協会が蓄積してきたネットワークや知識・情報を有効に活用し、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施する

予定であったが、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、コンベンション開催が相次いで中止・延期となったが、会議開催の促進、宿泊・MICE 施設の利用向上を図るための助成制度を新設した。また、海外渡航の制限・自粛や新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを活用し、アフターコロナを見据えた支援説明・商談を行った。

## (1) コンベンション誘致・支援事業

### ① コンベンション助成事業

項目	件数	金額
コンベンション開催助成(国際会議, 国内会議)	1件	390,000円
市民公開講座開催助成	0件	0円
シャトルバス運行助成	0件	0円
開催準備資金貸付	0件	0円

申請件数・コンベンション開催助成：25件

(うち24件は、中止・延期・オンライン開催のため、申請取り下げ)

- ・市民公開講座開催助成：0件
- ・シャトルバス運行助成：2件
- ・開催準備金貸付：0件

### ② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でのコンベンション開催のセールス活動及び招請活動を行うとともに、IME (国際MICE エキスポ) に出展し、仙台の魅力をPRすることでコンベンションの誘致拡大を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による海外渡航の制限・自粛により、オンラインを活用した支援説明、商談を行い、アフターコロナを見据えた会議誘致を図った。

#### i. 国際会議に重点を置いたコンベンション誘致セールス

首都圏における誘致セールスは実施ができず、東北大学を中心とした地元の会議キーパーソンへ訪問・オンラインによる支援説明を実施した。また、仙台での開催を検討し来訪した会議主催者への支援説明を実施した。(47件)

#### ii. 国際会議協会 (ICCA) データの調査並びに部会参加による情報収集

ハイブリッド形式で開催された ICCA アジアパシフィック部会サミットへオンラインで参加し、コンベンション市場の最新の動向やコロナ禍におけるコンベンションのあり方、さらに先進都市の開催情報等の調査・情報収集を実施した。

#### iii. 国際MICE エキスポ (IME) による商談と会議情報収集

国内外のMICE 主催者を対象に商談を行う「IME2021 (オンライン)」に参加し、会議主催者等とのオンライン商談を実施した。

- ・開催日：令和3年1月26日(火)～2月4日(木)
- ・主催：JNTO (日本政府観光局), JCCB (日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー)
- ・商談件数：14件

#### iv. コンベンション主催者の招請への参加 (オンライン Meet Japan)

JNTO が招請した毎年海外の国際会議のキーパーソンを日本へ招請している事業をオンラインで

実施した「オンライン Meet Japan」へ参加。動画による仙台の都市視察の実施、並びに海外キーパーソンとのオンライン商談を実施した。

- ・開催日：令和3年1月26日（火）～2月4日（木）
- ・商談数：7件

#### **v. 東北地区コンベンション合同誘致懇談会における情報収集と商談**

東北地区コンベンション推進協議会主催合同誘致商談会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となった。

#### **vi. コンベンション誘致資料の翻訳**

展示会等の中止や延期等により、出展のパフレット、誘致資料等の翻訳業務は実施なし。

#### **vii. 海外展示商談会への出展**

海外旅行自粛措置により実施せず。

#### **viii. M（ミーティング）I（インセンティブ）誘致セールス**

- ・企業が実施するM（ミーティング）、I（インセンティブ）に関する誘致セールスを実施した。
- ・会議等の開催の促進ならびに宿泊およびMICE施設の利用促進を図るために、会議等の開催経費を一部助成する「仙台市企業内会議・研修会助成制度」を新設した。

実施期間：令和2年8月20日（木）～令和3年2月28日（日）

助成申請件数：10件

助成実績件数：8件 人数：223人 助成額：1,165,000円

- ・旅行代理店等への訪問セールス

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、首都圏への訪問セールスを断念し、仙台圏域の旅行代理店や宿泊施設等4ヶ所へセールスを実施した。

宿泊施設：27施設、MICE施設：4施設、旅行代理店：8社

全国旅行業協会宮城支部、仙台総支配人協議会、仙台ホテル旅館組合、秋保温泉旅館組合、作並温泉旅館組合

### **③ コンベンション支援事業**

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与し、開催件数の増加及び国際会議ボランティアの育成・派遣によるおもてなしの向上を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、アフターコロナを見据えた支援情報の発信及びオンラインを活用したおもてなしの向上を図った。

#### **i. 国際会議ボランティアの育成・派遣**

「国際会議語学ボランティア オンライン研修会」の開催

- ・内容：国際会議ボランティア登録者を対象に国際会議開催時の日本文化体験（書道）を想定した英語による案内やサポートについてオンラインで研修を開催した。
- ・開催日：令和3年2月27日（土）
- ・参加者数：11名

派遣：対象となる会議等が中止・延期となったため実施せず。

#### **ii. コンベンション開催時の歓迎表示**

全国会議を対象にJR仙台駅2階のウェルカムボード等へ歓迎表示を実施した。

- ・掲出件数：国内会議8件

### iii. コンベンション誘致・支援キットの作成

下記のコンベンション誘致・支援のツールを作成した。

- ・仙台ミーティングプランナーズガイド
- ・仙台コンベンション開催業務サポーター

### iv. 開催会議への支援メニュー（アトラクション、エクスカージョン、体験プラン）の提供

対象会議等が延期・中止などになったため実施せず。

### v. MICEサポートセンターの設置・運営

コンベンション等MICE受入を目的とした各種情報の収集、セミナー等の開催を行った。

ア 「MICE レベルアップセミナー」の開催

- ・テーマ：「With/After コロナ時代のMICEの在り方」
- ・講師：東北医科薬科大学大学院 臨床感染症学教室 藤村 茂 教授
- ・場所：TKP ガーデンシティ仙台
- ・開催日：令和3年2月17日（水）
- ・参加者数：33名

イ 「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」の開催

- ・内容：青葉山コンソーシアム及び仙台市と共催で、会議主催者やコンベンション関係者を対象とした仙台国際センターの内覧及び市内コンベンション関係者との商談会を実施した。当協会はコンベンション支援関係の案内を中心とするブースを出展した。
- ・場所：仙台国際センター
- ・開催日：令和3年2月2日（火）
- ・参加人数：150名

ウ WEBによる仙台の魅力の発信

- ・内容：仙台の伝統や文化等を紹介する特集記事を作成し、コンベンション参加者向けに、WEBサイト（SPENDING Time SENDAI）による発信を行った。
- ・発行回数：3件

エ 日本コンベンション研究会主催のMICEフューチャー・アクション「新たな日本のMICEショーケース」への参加並びに新型コロナウイルス感染症対策動画の作成。

- ・内容：全国のMICE関係者がそれぞれの取組みをアピールし全国を繋いで日本のMICEの状況を世界に発信することを目的にしたイベントにオンラインにて参加した。情報発信ツールとして伊達武将隊出演による「仙台あんしんMICE」と題した動画を作成し、国内外へ情報発信を行った。

オ その他支援

- ・観光などパンフレットの提供
- ・コンベンションバッグの提供（有料）
- ・オンライン懇親会用物産販売

### vi. 「第17回世界地震工学会」の歓迎

令和3年へ延期となり実施できず。

## 4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人市民が、自らの個性を活かしながら、地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目的として、国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施し、活力ある地域づくりを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、感染対策を行うとともにオンライン等を活用し、事業を実施した。また、外国人市民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供し、相談対応や通訳などの支援を行った。

### (1) 外国人市民支援

#### ① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人市民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

##### i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内6か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人市民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

##### ア せんだい日本語講座

前期：6月～7月／後期：9月～3月開講、前期94名／後期103名受講

##### イ 日本語ティールーム（託児付き）

9月～3月開講、25名受講

##### ウ さっと日本語クラブ（小中学生対象）

6月～2月開講、23名受講

##### エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・泉日本語サロン
- ・茂庭台日本語サロン

##### ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に、学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに、登録ボランティア向けの研修会を開催した。

##### ア 日本語ボランティア研修会の実施

令和2年9月21日（月・祝）

「日本語ボランティアのためのオンラインレッスンの効果的な教え方」40名受講

講師：佐藤綾子氏（㈱インカレックス取締役 日本語教師・日本語コーディネーター）

場所：仙台多文化共生センター研修室

##### イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

登録者ボランティア数69名

学習者数4名

（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から新規受付中止。オンラインのみ受付）

##### ウ 市民団体が行う研修会への協力

##### iii. 日本語教育の体制整備

外国人住民の新たな学習ニーズに応える日本語教育の体制づくりのため、コーディネーターの配置及び総合調整会議の開催を行った。

ア コーディネーター、アドバイザーの配置

下記の日本語教育の専門家を配置し、総合調整会議の開催、現状の分析、日本語教室や関係機関の視察、ヒアリング等を行った。

- ・総括コーディネーター：小河原義朗氏
- ・地域日本語教育コーディネーター：高橋亜紀子氏，吉田環氏
- ・アドバイザー：土井佳彦氏

イ 総合調整会議の開催

大学，市民団体，外国人コミュニティ，日本語学校等の関係者を招集し，市内の日本語教育の現状と今後の方向性，関係機関の取り組みの共有と連携の検討などを議論した。

- ・第1回総合調整会議：令和2年10月29日（木）
- ・第2回総合調整会議：令和3年2月19日（金）

ウ 日本語学習促進ちらしの作成

外国人市民に日本語学習を促すことを目的に，日本語教室等の情報を掲載した当協会ホームページを周知する広報物を作成した。

- ・仕様：A4，カラー両面
- ・部数：3,000部

エ 関係機関との連携による新たな日本語学習の場の立ち上げ

外国人住民の学習ニーズに対応するため，関係機関等と共催，協力するなどし，新たな学習機会を創出した。

- ・共催：日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室（宮城教育大学）
- ・協力：みんなのひろば（東北大学文学部日本語教育学研究室）
  - ：外国人就労・定着支援研修事業（定住外国人就職支援コース）（厚生労働省）
  - ：外国人介護人材日本語学習支援事業（宮城県）

## ② 生活支援事業

外国人市民が，交通安全や防災，文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び，地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等の実施，生活に必要な情報の翻訳と広報を行うとともに，言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため，ガイダンスや学習教室の開催，情報提供等を行う予定であったが，新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，オンラインを活用するとともに，コロナ禍で困窮する外国人市民向けの情報発信，支援を行った。

### i. コミュニティ通訳の育成・派遣

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」を登録，派遣し，サポーター向けのフォローアップ研修を開催した。（「仙台多文化共生センターの運営」を参照）

### ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人市民が安心・安全に暮らすため，日本語講座，日本語学校，専門学校，大学等に出向いて交通ルール，ごみ分別，防災等に関する生活オリエンテーションを行った。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

10月～11月（全2回）実施，延べ19名参加

災害，食生活と健康について

イ 出前講座

通年 2 回実施，延べ 12 名参加

日本の習慣・マナー，交通安全，ゴミ分別，防災，税金・年金に関する行政関係の通知について

ウ 新型コロナウイルス感染症に関するオンライン研修会

令和 3 年 2 月 22 日（月）

講師：青柳 哲史氏（東北大学大学院医学系研究所総合感染症学分野 准教授）

対象：当協会事業に関係する外国人住民

共催：（公財）宮城県国際化協会

参加者：30 名

**iii. 生活情報の多言語化**

健康，子育て，防災など外国人市民の生活に必要な情報を，行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。また，仙台市と協力して，新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信した。（全 130 件，主にベトナム語，ネパール語への翻訳）

新型コロナウイルス感染症に関する情報：103 件		その他：27 件（下記参照）	
健康・子育て：6 件	災害防災・消防：6 件	交通機関：2 件	ごみ処理：2 件
日本語学習：1 件	生活：4 件	住民登録：1 件	国政調査：1 件
税金：1 件	仕事：1 件	観光：1 件	その他：1 件

**iv. FMラジオ多言語放送による情報発信**

FMラジオ 4 局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報を提供し，災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

- ・放送日：言語ごと月 1 回 14 分間放送
- ・内容：生活情報，イベント情報等
- ・言語：英語，中国語，韓国語，やさしい日本語
- ・協力：エフエムたいはく，fmいずみ，ラジオ 3，エフエムなとり

**v. 外国につながる子どもの支援**

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため，通訳や情報提供，学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

- ・相談事案数：46 件  
（小学校：24 件，中学校：9 件，未就学：4 件，他：9 件）
- ・コーディネーター派遣数：8 件  
（小学校：5 件，他：3 件）
- ・研修会  
令和 2 年 11 月 19 日（木）実施「オンライン研修会」  
（コミュニティ通訳サポーター研修会と合同開催）  
講師：内藤 稔氏（東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授）  
参加者 19 名
- ・教材・参考資料の整備と貸出



学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し、貸出を行った。(44教材：5校)

イ 日本語を母語としない子どもと親のための進路相談 宮城

令和2年9月から令和3年3月19日まで実施

- ・高校進学に関する情報提供、公立小中学校へ情報提供を行った。
- ・進路ガイダンス実行委員会のHPに進路情報・動画を掲載した。
- ・個別相談を電話、オンライン(ZOOM)で対応した。

ウ 日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室

- ・内容：オンライン(ZOOM)を使用した教科学習及び日本語学習支援
- ・共催：宮城教育大学，協力：(公財)宮城県国際化協会
- ・第1回 令和2年8月5日(水)～8月7日(金)実施(全2回)  
外国につながる子ども 11名，支援協力者 12名参加
- ・第2回 令和2年11月10日(火)～令和3年1月12日(火)実施(全8回)  
外国につながる子ども 19名，支援協力者 48名参加
- ・第3回 令和3年3月1日(月)～3月30日(火)実施(月・火・木 全14回)  
外国につながる子ども 19名，支援協力者 28名参加

エ 外国人児童と家族のための小学校入学準備情報の提供

令和3年2月より、HPにて多言語の資料を掲載し、情報提供を行った。

オ 外国につながる子ども支援ガイドブックの増刷

令和元年度に(一財)自治体国際化協会の助成を受けて作成した、下記のガイドブックを増刷した。

- ・「外国につながる児童生徒の受入れと指導の手引き」(学校向け)日本語 500部
- ・「日本の小学校」(外国人保護者向け)英語・中国語各200部，韓国語・タガログ語・ベトナム語各50部(日本語併記)。

カ 「家庭学習の教材集」の作成

コロナ禍による4月～5月の学校休校期間の対応として、家庭で学習できるオンライン教材を集めた資料を作成し、HPに掲載、教育委員会を通じて小中学校に周知した。

**vi. 防災啓発(多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施)**

防災ガイドブック、DVDの活用により外国人市民の防災意識を高めるとともに、外国人防災リーダー育成研修を行った。

ア 外国人防災リーダー育成研修

地域防災に貢献する外国人防災リーダーの育成を目的とし、防災に関心のある外国人に対し、日本の災害や防災の仕組み、外国人支援についての研修を実施した。修了後、登録した防災リーダーを、地域の防災事業に外国人避難者役、講師等として派遣した。

- ・第1回 令和2年7月11日(土)

内容：過去の災害や防災の仕組み、外国人防災リーダーの役割についての講義、及び災害が起こった場所の見学

講師：譚 俊偉(タン シュンワイ)氏(岡山県総社市職員)

場所：仙台多文化共生センター研修室

参加：17名

- ・第2回 令和2年8月8日(土)

内容：避難所の見学，多文化防災ワークショップの実施

場所：東六番丁小学校，東六コミュニティセンター

参加：21名

イ 消防隊員，救急隊員対象外国人対応訓練 令和2年12月17日（木）

人数：仙台市消防局指令課職員 30名参加

内容：外国人住民による119番通報の入電対応訓練。外国人防災リーダー2名を外国人役として派遣

ウ 仙台防災未来フォーラムへの参加 令和3年3月7日（日） 33名参加

内容：発表では，外国人住民の状況及び課題に関する問題提起・事業紹介を行うとともに，映像により外国人留学生の声を紹介。ブース展示では，防災に役立つ多言語の情報・資料を展示

エ Datefm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

放送日：毎月第2日曜日

番組名：災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」コーナー

内容：本語によるトーク及び母語による防災ワンポイントアドバイス

#### vii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

例年，留学生の生活支援を図るため，仙台市が回収した放置自転車を宮城県自転車軽自動車商業協同組合の協力により修理し，市民団体と協力して留学生に斡旋・販売していたが，令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

#### viii. 新型コロナウイルス感染症に関する支援

ア 新型コロナウイルス感染症に関する情報を仙台市と協力して多言語化し，SNSや関係団体への周知など様々な手段を使って発信した。【再掲】

イ 仙台市と協力し，留学生を受け入れている大学や専門学校等の関係者を対象に感染状況等の情報共有や，感染拡大防止策の周知，各学校の取り組み状況や懸案事項等の情報共有を目的に，意見交換会を開催した。

ウ 社会福祉協議会やフードバンク仙台等と協力し，困窮する外国人に対しての支援を行った。

## (2) 災害時の外国人支援

### ① 仙台市災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時，外国人市民や旅行者など，言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行うとともに，発災時には，外国語での情報提供や相談対応を行う。

#### i. 仙台市災害多言語支援センター設置・運営

令和2年度は設置なし

#### ii. 仙台市災害多言語支援センター設置運営訓練

・開催日：令和2年8月6日（木）

・場所：仙台多文化共生センター研修室

・参加者数：42名（協会及び仙台市職員，災害時言語ボランティア等）

・内容：仙台市災害多言語支援センターの活動，仙台市の防災とコロナ禍の避難所運営，多文

### iii. 警報発令時、震災時における多言語情報の発信

- ・件数：7件
- ・内容：令和2年9月23日（水） 台風12号に関する注意喚起  
令和2年10月9日（金） 台風14号に関する注意喚起  
令和3年2月13日（土） 福島県沖を震源とする地震に関連する情報  
令和3年2月15日（月） 暴風警報に関する注意喚起  
令和3年3月20日（土） 地震及び津波注意報に関する注意喚起 3件
- ・発信手段：国際化事業部ブログ、Facebook、Twitter、メールマガジン

## ② 仙台市災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「仙台市災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

### i. 登録

登録者数68名、対応言語18言語

### ii. 研修会、訓練

ア 仙台市災害時言語ボランティア研修会

令和2年10月24日（土）実施 17名参加

イ その他の研修や訓練への参加

・仙台市災害多言語支援センター設置訓練

令和2年8月6日（木）実施 15名参加

・名古屋市国際センター「災害時外国人支援ボランティア研修」

令和3年1月16日（土）実施 パネリストとして1名派遣（オンライン）

## （3）地域づくり支援事業

多文化共生社会の形成を目的として、学校や市民センターなどが実施する国際理解講座に対し、外国人市民等の講師紹介や内容に関しての助言、市民が自主的に行う国際交流、国際協力、多文化共生に関する活動に対して補助金の交付の他、外国人市民の状況や多文化共生について考える講座やイベントを開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインを活用するとともに、国際フェスティバルの開催を中止した。

### ① 地域づくり支援事業

#### i. 国際理解の推進

学校、市民センター等が実施する国際理解事業に対して、講師の紹介や情報提供などの支援を行う事業であるが、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、オンライン授業で実施した。

・人材の登録と派遣

・登録者数 71名（25の国と地域）

・派遣件数 1件（小学校0件、中学校0件、高校1件）

・派遣講師数 1名

・参加者数 15名

#### ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流，国際協力，多文化共生等の活動促進を図るため，事業経費の一部を補助した。

交付団体数	3 団体
金額	2 1 5, 0 0 0 円

### iii. 国際フェスティバル（中止）

例年，国際交流・国際協力・多文化共生に関わる団体が一堂に会する「せんだい地球フェスタ」を開催し，異文化交流を通して多文化共生や国際貢献について考える機会としていたが，令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により中止した。

### iv. 多文化共生講座の開催

区役所等で窓口を担当する職員を対象として，外国人市民対応研修を実施した。

- ・消防隊員，救急隊員対象外国人対応訓練【再掲】

令和2年12月17日（木）実施

仙台市消防指令課職員 30名参加

- ・外国人市民対応研修

令和2年10月 7日（水）実施 仙台市青葉区役所職員 11名参加

令和2年10月14日（水）実施 仙台市若林区役所職員 10名参加

令和2年10月28日（水）実施 仙台市太白区役所職員 16名参加

令和2年11月17日（火）実施 仙台市泉区役所職員 12名参加

令和2年12月 3日（木）実施 仙台市建設公社職員 10名参加

令和2年12月10日（木）実施 宮城野区役所職員 15名参加

令和3年 1月29日（金）実施 仙台市役所職員 34名参加

## （4）人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生を，せんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

### ① 人材育成事業

#### i. 留学生による多文化共生活動の促進

外国人留学生を，協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流委員」に委嘱し，その活動のための奨励金を支給した。

- ・人数：前期20名，後期20名

- ・活動内容：各種講座・ラジオ出演等，協会事業への協力，仙台市事業への協力

## （5）国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団や青少年団の受入等の事業により，市民の国際交流活動を促進する予定であったが，新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大から，交流・受入事業を中止した。

### ① 国際交流事業

- i. 仙台国際ハーフマラソン大会姉妹都市等選手団交流会（中止）

- ii. ダラス青少年受入れ（中止）

- iii. ホストファミリーボランティア

・登録者数：63家庭

## 5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として、仙台の観光及びコンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより、各分野における事業を推進するとともに、各種団体による地域における様々な活動を促進する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインの活用及びセミナー等の開催を中止した。また、外国人市民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供した。

### (1) 調査・研究・広報事業

#### ① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

##### i. コンベンション施設関係者との情報交換会の開催

コンベンション施設及び開催業務サポーターとの情報交換会（オンライン）

- ・第1回：仙台コンベンション業務サポーター  
開催日：令和2年5月21日（木） 参加3団体
- ・第2回：コンベンション施設  
開催日：令和2年6月21日（日） 参加4団体
- ・第3回：コンベンション施設・開催業務サポーター  
開催日：令和2年9月9日（水） 参加5団体
- ・第4回：コンベンション施設・開催業務サポーター  
開催日：令和2年12月12日（土） 参加12団体

##### ii. コンベンション開催情報誌への広告掲載

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため実施せず。

##### iii. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。

- ・令和2年度下期版 9月発行（電子データ）
- ・令和3年度上期版 3月発行

##### iv. 日本コングレスコンベンションビューロー（JCCB）・日本政府観光局（JNTO）を活用した調査研究

国際会議等コンベンション情報の収集を目的とし、JCCB及びJNTO事業へのオンラインセミナーに参加した。

ア JNTO

- ・「MICEセミナー ～Basic～Webinar」（オンデマンド講義）  
開催日：令和2年8月17日（月）～9月30日（水）
- ・「オンラインMICEセミナー ～中級編～」  
開催日：令和3年3月1日（月）～2日（火）

イ JCCB

- ・「韓国市場における新型コロナウイルス感染症対策とMICEの現状」  
開催日：令和2年8月26日（水）
- ・「～Withコロナ時代におけるMICEの促進について～」

開催日：令和2年12月4日（金）

- ・「音楽等ライブイベントのオンライン開催事例と最新のライブ配信情報」

開催日：令和3年1月18日（月）

- ・「海外コアPCOの国際会議運営に関する取組を学ぶ」

開催日：令和3年2月8日（月）

#### **v. 東北地区コンベンション推進協議会における調査広報**

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業を行った。

- ・総会：現地開催は中止。書面表決にて実施した。
- ・研修会：現地開催中止となり、オンライン情報交換会を実施した。

テーマ：「コロナ禍における取組みについて」

開催日：令和2年10月22日（木）

#### **vi. コンベンション開催情報の収集及びデータベース化**

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握に向け、データシステムの運用より収集した大会等のデータベース化を行った。

#### **vii. 各種コンベンション関係情報の発信**

ア メールマガジンの発行：5回

イ 新型コロナウイルス感染症に関する調査並びに情報提供

- ・内容：MICE施設への新型コロナウイルス感染症対策と関連賛助会員への新型コロナウイルス感染症対策サービスの調査を実施。情報を集約し、ホームページにて情報発信を行った。

#### **viii. コンベンションアンケート調査の実施**

コンベンションの中止・延期により、開催アンケート調査は実施できず。

令和2年度と令和3年度開催予定の主催者に新型コロナウイルスの影響による会議の開催状況についてアンケートを実施した。

#### **ix. 観光コンベンションセミナーの開催**

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催中止。

### **② 多文化共生等に関する調査研究広報事業**

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究及び市民の理解促進を図るための広報事業を行った。また、外国人市民向けに新型コロナウイルス感染症に関する情報を多言語化し、各種ツールで広報した。

#### **i. 多文化共生等に関する調査研究**

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行う他、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

- ・地域国際化協会連絡協議会総会（書面決議）
- ・東北・北海道国際化協会連絡協議会、研修会（オンライン（ZOOM）開催）
- ・多文化共生マネージャー養成コース（滋賀）

#### **ii. 多文化共生等に関する広報**

広報紙、メールマガジン、SNSを通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。

また、他団体からの依頼により職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

- ア 「多文化共生情報誌 Sendai Lifestyle」の発行  
2,500部/年2回発行（日本語）
- イ 「国際化事業部ホームページ」の運営  
ブログ, Facebook, Twitter（日本語, 英語, 中国語, 韓国語）
- ウ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信（日本語, 英語, 中国語, 韓国語）  
登録者：2,108名登録 ※重複登録可  
（日本語1,518名, 英語1,050名, 中国語212名, 韓国語95名）  
配信数：日本語64件, 英語52件, 中国語49件, 韓国語48件  
災害等情報 計81件 ※新型コロナウイルス感染症関連含む。全言語総計。
- エ 事業広報等のための講師派遣, 原稿執筆等  
派遣回数：16回 内容：防災・多文化共生について

### ③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に、各専門委員会を設置し、外部有識者等からの意見・提言を求め各事業に活かす予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み、一部委員会の開催を中止した。

#### i. 観光専門委員会

同 宿泊部会 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止した。

- ii. コンベンション推進専門委員会 第1回：令和2年8月27日（火）実施 12名参加  
主な会議内容：コンベンション推進に関する意見交換  
テーマ「～With コロナ時代の MICE 戦略～」  
第2回：開催中止

#### iii. 物産専門委員会

同 工芸部会 令和2年7月29日（水）実施, 10名参加  
主な会議内容：「JR 仙台駅物産展・工芸展等の実施状況及び  
事業計画の報告, 新型コロナウイルス感染症  
による影響等についての意見交換」

令和2年10月8日（木）実施, 5名参加  
主な会議内容：「新規事業及び新型コロナウイルス感染症に  
関する対応等についての意見交換」

#### iv. 国際化専門委員会

- 第1回：令和2年7月30日（木）実施, 8名参加  
主な会議内容：「新規事業及び新型コロナウイルス感染症に  
関する対応等について」
- 第2回：令和3年3月 書面による事業報告等

## （2）情報発信事業

### ① 情報発信事業

国内外の観光客の誘致を目的に、仙台の最新の観光情報やイベント情報等を広く国内外に向けて情

報発信するとともに、当協会の機関紙を定期的に発行することで、当協会の事業活動内容を広く周知していく予定であったが、with コロナ、アフターコロナを見据えた情報発信を実施した。

#### **i. 観光宣伝パンフレットの作成**

- ・ 仙台観光マップの作成配布  
配布数 105,107部（前年度比32.1%）
- ・ 仙台シティマップの作成配布  
配布数 4,275部（前年度比13.9%）

#### **ii. 多言語版観光宣伝パンフレットの作成**

- ・ 増刷部数：英語版 39,500部  
簡体字版 9,000部  
繁体字版 13,500部  
韓国語版 8,000部  
タイ語版 13,500部

#### **iii. 仙台シティマップの作成**

- ・ 増刷部数：英語版 20,000部  
簡体字版 6,000部  
繁体字版 6,000部  
韓国語版 3,000部

#### **iv. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信**

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWEBサイトの運営、管理を行った。

- ・ 総アクセス件数：年間1,412,521件
- ・ 総ページビュー数：年間1,779,199ページビュー数

#### **v. 首都圏案内所等での情報発信事業**

仙台のパンフレットやプロモーションDVD等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」にて配布、放映し、PRを行った。

#### **vi. 機関紙等会員サービス事業**

新型コロナウイルスの状況を踏まえた、会員に関するサービス事業を行った。

##### **ア 賛助会費の全額免除**

新型コロナウイルス感染症による各会員事業者への影響を考慮し、賛助会費については全額免除とした。

##### **イ 観光応援WEBページ「Send<sup>ai</sup>」の開設**

コロナ禍における観光関連事業者の応援を目的に、令和2年7月1日～令和3年3月31日まで専用PRページを設置し、会員事業のPRを図った。

##### **ウ 会員専用ホームページの総リニューアル**

会員企業同士のビジネスマッチングの一助となるよう、マッチングページを新たに開設する等、会員向け情報の充実を図った。また、併せて会員管理システムのリニューアルも行った。

## **6. 情報提供・交流促進に関する事業**



情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより、地域の観光の発展と国際交流の促進を図る目的とする事業であるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、各種施設の営業日及び営業時間を見直す等して実施した。

## (1) 観光情報施設の運営

### ① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に来訪される観光客等を対象に、JR仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

・利用実績

	年間利用実績（4月～3月）※営業日数：346日
日本人	47,418名（前年度比33.0%）
外国人	1,741名（前年度比9.7%）
計	49,159名（前年度比30.4%）

### ② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区を訪れる観光客に対し、当該地区の観光地や物産、宿泊施設等を紹介するため、仙台市作並・定義地区観光案内所を運営した。

・利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月） ※営業日数：333日
7,237件（前年度比41.7%）

## (2) 仙台多文化共生センターの運営

多文化共生社会の実現を目的として、仙台多文化共生センターを運営し、国際交流や多文化共生の地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、開館日等の調整を行い、運営した。また、生活及び地域の観光に関する情報を収集し、外国人市民、センター来場者等への多言語での情報提供、関係機関や市民ボランティア等と連携して多言語による各種相談を実施した。特に、コロナ禍で困窮する外国人市民向けに多言語情報を提供し、相談対応や通訳などの支援を行った。

### ① 仙台多文化共生センターの運営 ※開館日数：299日、相談対応日数：356日

ア 入場者数： 7,553人（前年度比38.1%）

イ 相談受付数： 2,949件（前年度比72.8%）

ウ 図書貸出数： 828冊（前年度比62.6【和書402冊、洋書426冊】）

#### i. 外国人市民への情報提供・相談対応【重点】

市民団体との協働により、外国人市民の生活に関する情報を収集・提供した。また、仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、東北税理士会、宮城県行政書士会、宮城労働局等の専門機関と連携し、専門相談会を開催した。

・専門相談会実績：47件

#### ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援【重点】

外国語相談員及び通訳サポート電話の活用と、行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをするコミュニティ通訳サポーターの派遣により、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語

等の多言語にて外国人市民を支援した。

ア 外国語相談員

- ・言語：中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語

イ 通訳サポート電話

- ・言語：英語，中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語等 18言語
- ・対応実績：1,034件

ウ コミュニティ通訳サポーター

- ・登録者数：27名（9言語）
- ・派遣実績：31件（小学校7件，区役所4件，児童相談所6件，幼稚園4件，保育園3件，高校・アーク各2件，市役所・中学校・エル・ソーラ各1件）
- ・研修会：令和2年11月19日(木)実施（オンライン）  
（外国につながる子どもサポートせんだいコーディネーター研修会と合同開催）  
講師：内藤 稔氏（東京外国語大学大学院総合国際学研究院 准教授）  
参加者：19名

**iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援**

国際交流・多文化共生に関わる団体の情報を収集・提供した。また，登録団体に対して活動場所を提供し，事業の広報に協力した。

- ・団体登録数：150団体（うち研修室利用登録団体：76団体）

**iv. 外国人観光案内所としての情報提供**

- ・46件（日本人33件，外国人11件，外国人対応者2件）

**v. 『仙台生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集**

英語版1,400部，中国語版1,000部，韓国語版400部，ベトナム語版800部，ネパール語版800部（新規発行）を令和3年3月に発行。

**vi. 広報誌発行**

『仙台多文化共生センターだより』 2,500部／回（年3回発行）  
（日本語，英語，中国語，韓国語，ベトナム語，ネパール語）

## [収益事業]

### 1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便を図るため運営している仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場について

は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から利用が大幅に減少したため、管理運営体制の見直し等を図り運営した。

## (1) 観光駐車場等管理運営事業

### ① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

・利用実績

	令和2年4月1日～令和3年3月31日
利用台数	10,423台 (前年度比33.5%)
利用金額	5,748,500円 (前年度比33.6%)

## 2. 物産・銘産品等販売事業

### (1) 物産・銘産品等販売事業

#### ① 観光案内所等における物品販売

観光案内所等において、観光客を対象に土産品等の販売を行い、土産品の販売拡大と観光客へのサービスの充実を図る。

・仙台市作並・定義地区観光案内所における物産品、JR乗車券販売

年間販売実績	1,129,134円 (前年度比62.9%)
--------	------------------------

#### ① 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションやオンラインショップ等において、仙台の物産・銘産品の販売を実施し、物産振興と販路拡張を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部事業を中止し、オンラインショップを主とし、事業を実施した。

#### i. るーふる仙台チョコQの作成及び名刺台紙の販売

販売実績

品名	令和2年4月1日～令和3年3月31日
るーふる仙台チョコQ	1,177,750円 (前年度比28.0%)
名刺台紙	25,300円 (前年度比68.3%)

#### ii. オンラインによる物産販売【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響により、販売機会が減少している仙台の民芸品、雑貨等の事業者を支援するため、オンラインショップ「伊達な銘品横丁」を運営し、商品の販売促進を図った。

・開設日：令和2年10月26日（月）

・販売数：95品

・総売上：293,210円

#### iii. 仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。

#### iv. コンベンション会場における物産販売

・実施件数：1件（新型コロナウイルス感染症の影響により通信販売）

・総売上：94,730円